

編集後記

会誌一〇六号をお届けします。野田氏・中山氏のほか、五名の方の寄稿分を掲載しました。二本の論説は、自由民権運動と個別荘園の研究という、ともにその重要性は認識されていながら、これまでの研究の不十分な分野についての一大労作であります。事務局宛に寄せられていました原稿は、なおほかにもありましたが、次号以下に回したいと思えます。

なお、最近本誌の内容には質的向上は見られるかもしれませんが、親しみやすさに欠けるとの評も耳にしました。「会員だより」を復活した所以です。また、総会報告は会誌の義務であると考え、大分県地方史研究奨励渡辺基金の発足を含めて、会報としました。

会員諸氏の研究の益々の進展を祈ります。会誌のあり方についても、積極的な提言をお寄せ下さい。

(末広)

昭和五十七年六月二五日 印刷
昭和五十七年六月三〇日 発行

大分県地方史 第二〇六号

編集者 末 広 利 人

発行者 渡 辺 澄 夫

印刷者 中 尾 寿 孝

別府市中央町九一―五

印刷所 日の丸印刷株式会社

(電話 〇三三四一)

発行所

〒八七〇一一 大分市且ノ原七〇〇

大分大学教育学部国史研究室内

大分県地方史研究会

(振替・下関五二九四番)